

告示	番号	3	慢性呼吸器疾患
	疾病名	肺胞微石症	

肺胞微石症

はいほうびせきしょう

概念・定義

肺胞内にリン酸カルシウムを主成分とする微小結石が蓄積することにより、呼吸障害が徐々に進行する常染色体劣性遺伝疾患である。

症状

1. 労作時呼吸困難、低酸素血症
2. 咳嗽、胸痛

病初期（小児期）には無症状で、胸部X線写真の異常あるいは家族検診で発見されることが多い

治療

有効性が認められた治療法はない。呼吸不全に対して、在宅酸素療法などの対症療法を行う。ジフォスフォネート・肺移植が有効だったとする報告がある

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/3_4_6.html